

輸出事業計画

※申請者名：枕崎水産加工業協同組合、品目：かつお類

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・ 枕崎市の水産業及び水産加工業は、当市の基幹産業となっており、国内でも有数の鰹節産地として認識されており、生産量やその質の良好さを高く評価され、平成22年には「枕崎鰹節」が「地域団体表彰」に登録された。
- ・ 当組合員独自で施設及び機器の整備を積極的に行っていることもあり、全体生産量は比較的安定しているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、生産量、輸出量ともに大幅に下落し、それに伴う商材の滞留は、原材料である魚価低迷にも繋がった。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、海外での現地商談等が実施できておらず、結果への直接的還元には至っていない状況である。
- ・ かつお節の輸出先国の一極化(特にアジア圏内)により、輸出先国内での価格競争が激しさを増し、付加価値を付けることができずに安価に流通されている。

【課題】

- ・ **(加工)** HACCP等の高度衛生管理基準を満たした加工施設整備の推進や、輸出の市場調査やマーケティング調査などによる輸出先国のニーズなどに関する組合員への情報提供が課題である。
- ・ **(流通)** 限られた専門性のある人材に一任し実施している状況であり、輸出担当者の人材育成が課題である。また、輸出先国のアジア一極化の改善や安定的な輸出を行うために、輸出先国の多様化や新規販路開拓などの新規輸出先国の開拓が必要である。
- ・ **(販売)** 新型コロナウイルス感染症の影響により、生産量・輸出量ともに大幅に下落した。また現地商談等が実施できておらず、結果への直接的還元には至っていない。商社・卸売業者を介して輸出する間接輸出が多く、輸出先国の現地消費者ニーズ、生活習慣などを把握できていない。

2. 輸出事業計画の取組内容

(加工)

- ・ 高度衛生管理基準を満たした加工施設等の整備や、HACCPに対応した加工工場の整備に向け、組合員に対してセミナーや講演会を開催する。
- ・ 輸出に関する知識(輸出先国のニーズ、輸出手続等)の情報提供を行う。
- ・ 輸出業務のマニュアルを作成し、流通を含めた輸出業務を行う人材の育成や輸出への新規参入を推進し、持続可能な輸出体制のマニュアル化を図り、長期的な体制を構築する。

(流通)

- ・ 輸出規制や消費者ニーズ調査などのマーケティング調査を実施し、輸出先国のニーズを加味した商品開発により、輸出先国の多様化や新規輸出先国の開拓に取り組む。

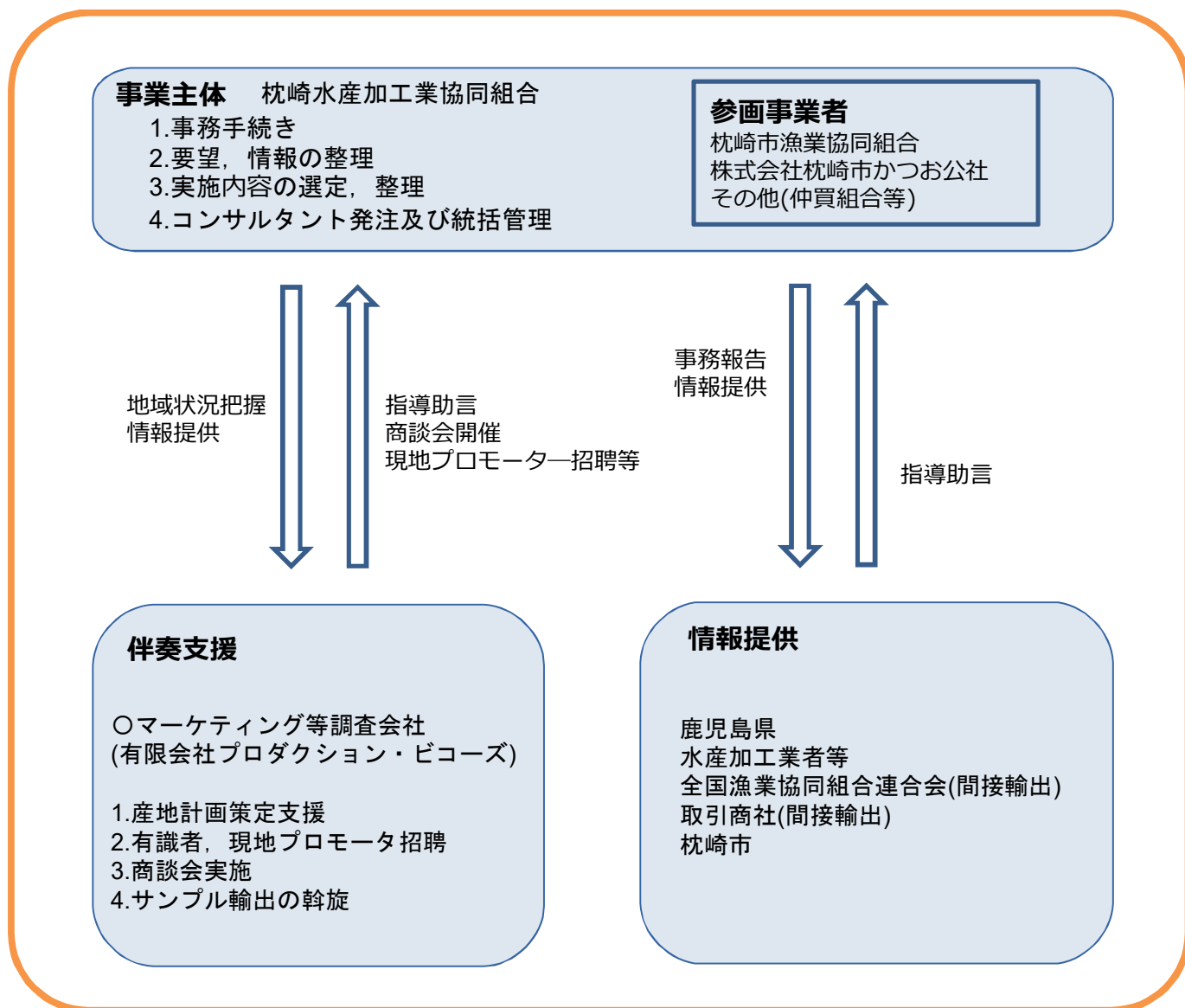
(販売)

- ・ 市場調査やサンプル品の輸送、商談会への出展やビジネスマッチングなどを通じて、相談対応及び指導、資料作成支援を実施し、新規販路開拓を推進する。
- ・ 現地消費者ニーズ、生活習慣等を踏まえた商品企画変更や、パッケージの改良等、輸出先国需要を加味した商品開発及び販売促進に取り組む。
- ・ ビジネスマッチングにより当組合企業と現地企業を結び付け、取引機会を増加させる。

輸出事業計画

※申請者名：枕崎水産加工業協同組合，品目：かつお類

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	現状	目標年
	(令和2年度)	(令和7年度)
輸出額(千円)	913,382	1,793,900
輸出量(t)	4,533	6,698
輸出先国	中国, アメリカ, 台湾, シンガポール, 香港, ベトナム, タイ, インドネシア, 韓国, 東南アジア, アフリカ	中国, アメリカ, 台湾, シンガポール, 香港, ベトナム, タイ, インドネシア, 韓国, 東南アジア, アフリカ, マレーシア